

作成日 2025年 10月 1日

(臨床研究に関するお知らせ)

大腸癌で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学外科学第二講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を受け、学長の許可を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院で診断・手術を行った MSI-H かつ BRAF 変異陽性大腸癌の臨床的特徴について

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学第二外科講座 准教授 松田 健司

3. 研究の目的

大腸癌の発生に関与する遺伝子検査は実臨床で広く普及するに伴い MSI-H かつ BRAF 変異陽性症例を認めるようになった。しかしその特徴については十分に理解されていない。今回臨床的特徴の把握のために研究を行う。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

大腸癌の患者さんで 2020 年 1 月から 2025 年 9 月までの期間中に当院で診断、手術を受けた方。

(2) 研究期間

研究実施許可日～2030 年 9 月 30 日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

(4) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂く情報は既に診療情報にある大腸癌の組織検査の結果を利用します。

(5) 方法

対象は 2020 年から 2025 年までの当院で診断、手術施行した進行大腸癌の中で MSI-H かつ BRAF 変異陽性であった 23 例の患者の臨床的特徴を解析した。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学第二外科講座

担当者：玉置 佑麻

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：073-447-2300

E-mail：tamakiyuma@wakayama-med.ac.jp